

事業報告書

事業名	令和4年度精神保健福祉士リーダー研修助成事業
事業の実施状況	<p>1. 精神保健福祉士等のスーパービジョンを担うリーダー養成</p> <p>1) 認定スーパーバイザー養成研修（第18回）</p> <p>＜第18回基礎編＞</p> <p>〔日程〕2022年8月5日（金）～7日（日）</p> <p>〔方法〕オンライン（Zoom ミーティング）</p> <p>〔受講者数〕14人</p> <p>＜第18回実践編における研修＞</p> <p>○オンライン研修</p> <p>〔日程〕2023年2月26日（日）</p> <p>〔方法〕オンライン（Zoom ミーティング）</p> <p>〔受講者数〕13人 ※内キャンセル1人</p> <p>○実践編における研修の代替課題</p> <p>〔追加課題〕オンライン研修演習録画を視聴したうえでレポート作成</p> <p>〔テーマ〕自身のスーパービジョン実践の検討、および今後のスーパービジョンに臨む課題</p> <p>〔個別面談〕2023年3月10日（金）</p> <p>〔方法〕オンライン（Zoom ミーティング）</p> <p>〔受講者数〕1人</p> <p>2) 認定スーパーバイザー養成研修（第17回）</p> <p>＜実践編＞</p> <p>〔実践期間〕2021年8月12日（木）～2022年6月5日（日）</p> <p>〔査読期間〕2022年6月7日（火）～2022年7月29日（金）</p> <p>〔保留者対応期間〕2022年7月29日（金）～8月29日（月）</p> <p>追加課題：追加レポート提出（2人）、オンライン個別面談（4人）等</p> <p>日程：8月4日（木）、10日（水）、18日（木）、25日（木）</p> <p>〔受講者数〕11人（合格者5人、保留後合格者5人、保留者1人）</p> <p>3) 認定スーパーバイザー更新研修</p> <p>＜第18回＞</p> <p>〔日程〕2022年10月23日（日）</p> <p>〔方法〕オンライン（Zoom ミーティング）</p> <p>〔受講者数〕11人</p> <p>＜第19回＞</p> <p>〔日程〕2022年12月10日（土）</p> <p>〔方法〕オンライン（Zoom ミーティング）</p> <p>〔受講者数〕12人</p> <p>4) スーパービジョンを担うリーダー養成並びに普及啓発事業</p> <p>今後各地で、スーパービジョンを展開していくために個別のスーパービジョンだけではなく、グループスーパービジョン（GSV）の活用が必要不可欠であるとの考えのもと、2021年度に本助成事業にて作成した認定</p>

スーパーバイザーを対象とした「グループスーパービジョン」動画については、新たに認定スーパーバイザー養成研修となる者が毎年視聴できる仕組みとし、第17回合格者に視聴機会を提供した。

5) グループスーパービジョンモデル事業及び手引き作成

2023年度にブロック単位によるグループスーパービジョンを実施するために、モデル事業として2ブロックにて実施し、「ブロック・都道府県においてオンラインによるGSVを実施するための手引き」を作成した。

<関東・甲信越ブロック>

①オリエンテーション

[日程] 2022年12月17日(土)

[方法] オンライン (Zoom ミーティング)

[参加者] スーパーバイザー (スーパーバイザーから指導を受ける者/SVE) : 5人、スーパーバイザー (SVR) : 2人、委員 : 1人

②グループスーパービジョン

[日程] 2023年1月17日(火)

[方法] オンライン (Zoom ミーティング)

[参加者] SVE : 5人、SVR : 2人、委員 : 1人

<東海・北陸ブロック>

①オリエンテーション

[日程] 2022年12月19日(月)

[方法] オンライン (Zoom ミーティング)

[参加者] SVE : 4人、SVR : 2人、委員 : 2人

②グループスーパービジョン

[日程] 2023年1月30日(月)

[方法] オンライン (Zoom ミーティング)

[参加者] SVE : 5人、SVR : 2人、委員 : 1人

6) 研修の企画運営等に係る委員会の開催

認定スーパーバイザー養成研修及び認定スーパーバイザー更新研修について、今期の新委員が研修運営や査読等を担えるよう引継ぎを考慮した運営体制の検討、グループスーパービジョン検討小委員会からの報告を経たICTを活用したグループスーパービジョンの検討、2023年度の養成研修等のスケジュール等の確認を行うため、オンラインにより2回開催した。

7) 査読委員会の開催

第17回実践編において、中間レポート査読2回、最終レポート査読2回をオンラインにより実施した。

8) グループスーパービジョン検討小委員会

グループスーパービジョンモデル事業及び手引き作成を進めるために「グループスーパービジョン検討小委員会」を設置し、オンラインにより、2回開催した。

9) 認定スーパーバイザー登録者数

118人 (2023年3月31日現在)

2. 成年後見活動に従事し、または制度利用支援を行うリーダーの養成

1) 「認定成年後見人養成研修（入門編）」（2回）の開催

<第1回>

[日程] 事前視聴：2022年5月13日（金）～6月5日（日）

オンライン研修：2022年6月26日（日）

[方法] オンライン（Zoom ミーティング）

[受講者数] 53人（構成員52人・非構成員1人）※内キャンセル4人

<第2回>

[日程] 事前視聴：2022年7月29日（金）～8月21日（日）

オンライン研修：2022年9月10日（土）

[方法] オンライン（Zoom ミーティング）

[受講者数] 56人（構成員55人・非構成員1人）※内キャンセル4人

2) 「認定成年後見人養成研修（応用・実務編）」の開催

[日程] 事前視聴：2022年12月20日（火）～2023年1月8日（日）

オンライン研修：2023年1月28日（土）

[方法] オンライン（Zoom ミーティング）

[受講者数] 53人 ※内キャンセル2人

3) 「クローバー登録者継続研修」の開催（2回）

<第19回>

[日程] 2022年10月2日（日）

[方法] オンライン（Zoom ミーティング）

[受講者数] 26人

<第20回>

[日程] 2022年11月20日（日）

[方法] オンライン（Zoom ミーティング）

[受講者数] 29人

4) クローバー登録者（認定成年後見人）学習課題（ネット学習）

[実施期間] 2022年12月23日（金）～2023年2月10日（金）

[受講者数] 168人

[課題] ①講義動画

「第二期成年後見制度利用促進基本計画（60分）」

「私から見た地域連携ネットワーク及び中核機関の現状（60分）」

②学習問題（全10全問正解で合格）

[成年後見人養成研修・動画講義聴講者数] 12人

5) 研修の企画運営に係る委員会の開催

入門編は募集直後に定員に達したため、参加者の受講ニーズに沿った研修企画を目的に2021年度に受講ニーズ調査を実施し（調査期間2021年9月～11月、回答件数163件）、その結果を受けて2022年度は入門編の回数を2回に増やし、応用・実務編を1回、継続研修2回と設定した。研修内容は各研修の担当委員による企画のもと、クローバー運営委員会にて検討を行った。コロナ禍かつ全国規模の研修に対し、最も要望

	<p>の多い「講義は事前視聴、演習はリアルタイムでのオンラインで受講する」形式とした。特にクローバー登録者の資質の向上を行う継続研修は、第二期成年後見制度利用促進基本計画を取り上げ、同計画、地域連携ネットワークおよび中核機関の理解を深める内容とした。</p> <p>6) クローバー登録者数 223人 (2023年3月31日現在)</p>
<p>事業の成果</p>	<p>全国（都道府県）において、精神保健福祉士として精神障害のある者をはじめとしたメンタルヘルス課題を有する者に対して、適切な相談援助活動等が担えるリーダーを養成することを目的に、2022年度も新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響を踏まえ、引き続きオンライン形式により次の2種類の研修事業を実施した。</p> <p>1. 若手・新人精神保健福祉士等のスーパービジョンを担うリーダーの養成</p> <p>精神保健福祉士は、1997年12月の精神保健福祉士法制定から20数年が経過し、若年、または実践経験の浅い精神保健福祉士に対して、全国各地で個別あるいはグループによるスーパービジョンの必要性が、年々高まっている。こうした現状を踏まえ、今後一層のグループスーパービジョンの活用を念頭に置き、2023年度にブロック単位によるグループスーパービジョンを実施するために、モデル事業として2ブロックにて実施し、「ブロック・都道府県においてオンラインによるGSVを実施するための手引き」を作成したことは、スーパービジョンの活用促進の具現化の1つといえる。</p> <p>本研修によるスーパーバイザーの養成並びに更新研修は、スーパービジョン活用の定着化、認定スーパーバイザーへの更なる学びの機会提供には必要不可欠である。スーパービジョンは、精神保健福祉士の専門的力量的の向上に繋がるが、個別、グループ、対面、オンラインといった様々な形態のスーパービジョンを展開していくことが一層期待されており、今年度作成したICTを活用したスーパービジョンの手引きをはじめとしたグループスーパービジョン実施に向けた取り組み、本事業によるリーダー養成の取り組みは、スーパービジョンを活用した基本的な人材育成体制を盤石化するための一翼を担っていると考えらる。</p> <p>2. 成年後見活動に従事し、または制度利用支援を行うリーダーの養成</p> <p>養成研修では、受講者の意思決定支援への高い関心が確認できた。本協会が将来ビジョンで目指す人材像と同様に、これまでも意思決定支援を重視してきた精神保健福祉士の本質が伺える結果となった。</p> <p>コロナ禍にあって保健・医療・福祉の現場に勤める受講者には外出の制約が課せられている人が多く、それでも本テーマを学び、率先して行動できるようになりたいニーズに対し、今回の講義形式は「時間的にも経済的にも受講しやすい」「事前視聴で学びやすい」といった高評価を得た。また、講義を受けただけで終わることなく、過去の受講者に演習サポーターとして協力してもらい、実践の先導役・リーダーとして活動いただいた。</p>